



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	第1学年 体育「1ふじサーカスをはじめよう!」(II 実践報告 アクティブ・ラーニングの授業実践6) (fulltext)
Author(s)	山田,章浩
Citation	研究紀要 / 東京学芸大学附属大泉小学校, 28: 294-297
Issue Date	2017-08
URL	http://hdl.handle.net/2309/148836
Publisher	東京学芸大学附属大泉小学校
Rights	

8 アクティブ・ラーニングの授業実践⑥

第1学年 体育 「1ふじサーカスをはじめよう！」

実施 平成29年1月

対象 1年ふじ組 31名

授業者 山田 章浩

1. 単元名 1ふじサーカスをはじめよう！（体づくり運動） ～うごきをくふうして たのしくあそぼう～

2. 単元の目標

- のびのびとした動作で、体を移動する運動遊びや、用具を用いた運動遊びができるようにする。
(運動)
- 場の安全に気を付けて、友達と仲良く進んで運動に取り組むことができるようにする。(態度)
- 動きのポイントを知り、動きを工夫することや、友達のよい動きを見付けられるようにする。
(思考・判断)

3. 評価規準

教科の評価規準

観点	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動
単元の評価規準	ア 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 イ きまりを守り、友達と仲よく運動しようとしている。 ウ 場の安全に気を付けて運動しようとしている。	ア 動きのポイントを知り、工夫して新たな動きをしようしたり、友達のよい動きを見付けようとしたりしている。	ア 全身を使って、体を移動する運動遊びをしたり、用具を用いた運動遊びをしたりしようとしている。
学習活動に即した具体的な評価規準	①体を移動する運動遊びや用具（短縄）を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ②運動の順番を守ったり、グループの友達と仲良く運動したりしようとしている。 ③友達とぶつからないように安全を確かめながら運動しようとしている。	①もともになる動き（短縄で前や後ろの連続両足跳びをすること。）のポイントを知り、工夫して新たな動きをしようとしている。 ②友達と運動をしながら、友達のよい動きを見付けようとしている。	①歩く、這う、走る等の動きで構成される運動遊びをすることができる。 ②用具（短縄）を操作する運動遊びをすることができる。

4. 単元について

(1) 指導計画

	1	2	3	④本時	5
5	○学習オリエンテーション ・安全の確認 ・楽しく遊ぶための約束の確認	○整列・あいさつ ○準備運動（大泉エクササイズ）			
20	○準備運動 ○学び方を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">パワーマンになってあそぼう！</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">もうじゅうになりきってあそぼう！</div>	
		○力試しの運動遊びに取り組む。 ・すもう遊び <運動に出会う>	○力試しの運動遊びに取り組む。 ・すもう遊び <運動を工夫する>	○体を移動する運動遊びに取り組む。 ・猛獣狩りに行こうよ ・陣取りジャンケン <運動を工夫する>	○体を移動する運動遊びに取り組む。 ・猛獣狩りに行こうよ ・陣取りジャンケン <運動を工夫する>
30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">うごきをくふうして、スーパージャグラーをめざそう！</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">うごきをくふうしてたのしもう！～めざせ！○○ジャグラー！～</div>			
40	○用具を操作する運動遊びに取り組む。（短縄） ・「もともになる動き」のポイントを知る。 ○動きの工夫の視点を知る。 ①姿勢の変化 ②リズムの工夫 ③人数の増加 ○振り返りをする。	○用具を操作する運動遊びに取り組む（短縄） ○「もともになる動き」のポイントを確認し、取り組む。 ○動きを工夫して遊ぶ ①姿勢の変化 「チェンジジャグラー」 ・よい動きを称賛し全体に共有する。 ・全員でやってみる。 ○振り返りをする。	○用具を操作する運動遊びに取り組む（短縄） ○「もともになる動き」のポイントを確認し、取り組む。 ○動きを工夫して遊ぶ ②リズムの工夫 「リズムジャグラー」 ・よい動きを称賛し、全体に共有する ・全員でやってみる。 ○振り返りをする。	○用具を操作する運動遊びに取り組む（短縄） ○「もともになる動き」のポイントを確認し、取り組む。 ○動きを工夫して遊ぶ ③人数の増加 「フレンドリージャグラー」 ・よい動きを称賛し、全体に共有する。 ・全員でやってみる。 ○振り返りをする。	○用具を操作する運動遊びに取り組む（短縄） ○動きを工夫して遊ぶ。 ・3つの工夫から1つを選んで取り組む。 ○動きのポイントを確認しながら「もともになる動き」に取り組む。 ○みんなで動きを合わせて遊ぶ。 ○振り返りをする。
評価	関②③	関①思①運①	思②運②	関①思①運①	思②運②

(2) 本時の教材について（児童の実態も含む）

本単元は、体育科学習指導要領第1学年「体づくり運動」にある【イ多様な動きをつくる運動遊び(イ)の「体を移動する運動遊び」及び(ウ)の「用具を操作する運動遊び(短縄)】を中心に授業を展開していく。また、多くの動きの工夫が期待できる「用具を操作する運動遊び」に重点を置く。始めに「前や後ろの連続両足跳び」を「もともになる動き」として全員で取り組む。その後、「姿勢の変化」、「リズムの工夫」、「人数の増加」を工夫の視点として与え、自分で動きを工夫したり、友達のよい動きを見付けたりしながら、楽しんで多くの動きを獲得していけるようにする。

本学級の児童は体を動かすことが大好きで、休み時間になると、全員が男女仲良く「ドロケイ」や「ドッジボール」をして元気に遊んでいる。体育の授業では、動きの要点であるポイントを共有した後、個人が持つ運動感覚である「こつ」を1年生なりに見だし、互いに見合って友達のよい動きを見付ける学習を重視してきた。

本単元の授業においても、動きのポイントからこつを見だし、友達と交流しながら動きを工夫して楽しく体を動かすことを目標とする。

5. 「アクティブ・ラーニング」の視点（体育科）

視点1：「何を学ぶか」「学習課題」が明確になるシンプルで取り組みたくなる授業

㊦個や集団で（達成）できる教材（手立て①）

- ・「よい動き」を「ポイントをつかんでいる動き」と視点をもとに「工夫された動き」とし、児童が、この視点をもとに友達の動きを見て、学びを深められるようにする。
- ・「もともになる動き」（短縄：「前や後ろの連続両足跳び」）のポイント「つま先で、ひざを軽く曲げて跳ぶ。手首で回す。」を全体で共有し、取り組むことから始める。（運動に出合う段階）
- ・次に、「ジャグリングタイム」で動きを工夫する視点「姿勢の変化」, 「リズムの工夫」, 「人数の増加」を知り、個やグループで動きを工夫して運動を楽しみながら、多くの動きを獲得していく。（動きを工夫する段階：動きの多様化）
- ・動きを工夫することを楽しんだ後、もう一度「もともになる動き」に戻り、より滑らかにできようになったかを振り返る。（動きの洗練化）（※ただし、1年生では「動きの多様化」を重視する。）

視点2：自ら進んで課題を発見し、より主体的に運動に取り組める「どのように学ぶか」を重視した学習

㊦相互作用・ふりかえりを重視した学び方（手立て②）

- ・3つの工夫の仕方を知り、一通り取り組んだ後、3つの中からもう一度取り組みたい工夫の仕方を選んで運動を楽しむ。
- ・授業の終末に、見つけた友達のよい動きを伝え合い、共有する時間を設け、次時の学習での参考にできるようにする。
- ・体育ノート「体育であのね」を活用する。体育の授業の振り返りを、教師や友達に「せんせい（〇くん）、あのね」という書き出しで書かせ、できたことや、わかったこと（こつやポイント）、友達のよい動きなどについて1年生なりに振り返り、学びが深まるようにする。

視点3：互いの学びを伝え合いながら仲間と共に高め合う楽しさを実感することができる協働的關係づくり

㊦課題解決に向けたペア・トリオの仲間づくり（手立て③）

- ・「1人でできるスポーツ活動はない」という考えを基本に、「一緒に運動すること」を通してお互いの考えを認め合ったり、楽しいと思えたりする人間関係づくりを目指す。また、1年生なりに学びが深められるように、3～4名のグループを作り、「もともになる動き」に取り組んだり、動きを工夫したりして、見合いながら友達のよい動きを見付けられるようにする。

第5時では、選んだ工夫ごとに、同じ課題（やりたい動き）をもつ友達と新たなグループを作り、運動に取り組み動きを広げていく。




- ・「ジャグリングずかん」をクラスで協力して作成し、スーパージャグラーを目指して、友達のよさや新たな工夫、児童が考えた「こつ」などを掲示し、楽しみながら動きを工夫できるようにする。

6. 本時について

(1) 本時の目標

- ◎グループで多様な動きを作る運動遊びをしながら、友達のよい動きを見付けることができる。(思考・判断)
- 動きのポイントを意識しながら短縄を使った運動遊びができる。(運動)
- 体を移動する運動遊びや用具を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開

段階	学習活動・内容 ※身に付けさせたい動きの例	◇指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	1 集合・整列・あいさつをした。 2 準備運動を行った。 ・大泉エクササイズ	◇音楽に合わせて準備運動を行った。正しい動きを意識させ、関節の曲げ伸ばしができるようにした。
展開 ① 12分	3 今日の学習課題を確認した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">もうじゅうになりきってあそぼう！</div> 4 「もうじゅうがにげだした！」 体を移動する運動遊びに取り組んだ。 ①もとの動きに取り組んだ。 ・もうじゅうがりにいこうよ！ ②陣取りジャンケンに取り組んだ。 ・動物歩きで陣取りジャンケンを行う。 	◇動きのポイントを意識させた。 くま：膝をつかないように両手両足で。歩く。 あざらし：手の指を外側に向けて、肘を伸ばして這う。 カンガルー：両足を揃えてジャンプしながら進む。 ◇動きのポイントをもとに、ゲームを繰り返し行い、運動の楽しさが味わえるようにした。 ◇ペアで陣取りジャンケンを行った。「じゃんけんに勝ったら、出した手に応じた動物歩きで5歩進む。負けたら、同様にしてコーンに戻る。」 グー：くま歩き パー：あざらし歩き チョキ：カンガルー跳び <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「あざらし歩きは、胸を張って、肘を伸ばそう！」(教師)</div>
展開 ② 18分	5 用具を操作する運動遊びに取り組んだ。(短縄) ①動きのポイントを確認し、全員で「もとの動き」に取り組んだ。 ②ジャグリングタイム 動きを工夫して短なわを楽しんだ。 「フレンドリージャグラー」(人数の工夫)(3~4人のグループで取り組む) 	◇短縄のもとなる動き「前や後ろの連続両足跳び」のポイントを確認した。 「つま先で、ひざを軽く曲げて跳ぶ。手首で回す。」 ◇よい動きの児童を取り上げて称賛し、共有した。 ◆動きのポイントを意識しながら、短縄をしている。(観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「〇〇さんと△△くんは、1つの縄で2人が向かい合って跳んでいるよ。どうすれば上手に跳べるかな。」(教師) 「みんなも、2人の跳び方を真似してみよう！」(教師)</div> ◆グループで運動遊びに取り組みながら、友達のよい動きを見付けている。(観察) ◆バランスを保つ運動や用具を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。(観察)
整理 10分	6 片付け・整理運動をした。 7 今日の学習を振り返った。 	◇膝や足首を中心にほぐした。 ◇友達の具体的なよい動きを発表させ、称賛し、学級全体で共有した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「〇〇くんと□□さんがリズムを合わせて跳んでいました。動きが揃っていて上手でした。」(児童)</div> ◆グループで運動遊びに取り組みながら、友達のよい動きを見付けている。(発言・体育ノート)
	8 整列・あいさつをした。	